

## 4. 総会等報告

### (1) 2020年度地域安全学会総会 報告

#### 1). 2019年度事業報告

##### ①理事会の開催

2019年度は理事会を下記のとおり開催した。

- 第1回 2019年5月24日（金） 長野県木曾郡木曾町（木曾町文化交流センター）
- 第2回 2019年7月6日（土） 東京（東工大キャンパスイノベーションセンター）
- 第3回 2019年9月1日（日） 東京（東工大キャンパスイノベーションセンター）
- 第4回 2019年11月1日（土） 静岡（静岡県立大学）
- 第5回 2020年1月11日（土） 東京（同志社大学東京オフィス）
- 第6回 2020年3月21日（土） 東京（同志社大学東京オフィス）

##### ②総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

期間：2019年5月24日（金）～25日（土）

##### i. 5月24日（金）

- (a) 一般論文発表：54編
- (b) 2019年度地域安全学会総会
- (c) 表彰式（年間優秀論文賞、論文奨励賞）
- (d) 会場：木曾町文化交流センター（長野県木曾郡木曾町福島5129）

##### ii. 5月25日（土）

(a) 公開シンポジウム「御嶽山噴火災害から5年 火山との共生と木曾地域の振興」

会場：木曾町文化交流センター多目的ホール（上掲）

司会・進行：小山真紀（岐阜大学・准教授）

- 主催者挨拶：目黒公郎（地域安全学会会長、東京大学 教授）
- 来賓挨拶：阿部守一（長野県知事）
- 基調講演「御嶽山噴火災害と火山マイスター制度の創設」  
山岡耕春（名古屋大学大学院環境学研究科地震火山研究センター 教授）
- 地元小学校の取り組み（平成30年度三岳小学校での取り組み）  
御嶽山ジュニア火山マイスター
- パネルディスカッション  
パネリスト：  
國友孝洋（名古屋大学大学院環境学研究科地震火山研究センター特任准教授）  
川上明宏（御嶽山火山マイスター・三岳小学校教頭）  
竹脇聡（御嶽山火山マイスター・木曾観光連盟事務局）  
小池優紀夫（御嶽山火山マイスター・おんたけ休暇村）  
松井淳一（一般社団法人木曾おんたけ観光局代表理事）  
コメンテーター：阪本真由美（兵庫県立大学 准教授）  
コーディネーター：秦康範（山梨大学 准教授）
- 閉会挨拶：原久仁男（木曾町長）

##### (b) 現地見学会

##### ③東日本大震災連続ワークショップ2019 in 南相馬

下記の通り、ワークショップを実施した。

期間：2019年8月2日（金）～3日（土）

場所：南相馬市市民情報交流センター（福島県南相馬市原町区旭町2丁目7-1）

- ①東日本大震災ワークショップ：20件

②基調講演「南相馬市の復興状況」（門馬哲也復興企画部企画課長）

③南相馬市の復興ツアー

④秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

期間：2019年11月1日（金）～2日（土）

場所：静岡県立大学草薙キャンパス小講堂

査読論文発表：35件、一般論文ポスター発表：31件

⑤地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- i. 春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No. 44」を刊行した。
- ii. 秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No. 34（電子ジャーナル論文）、No. 35（研究発表会論文）」を刊行した。
- iii. 秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No. 45」を刊行した。
- iv. 地域安全学会論文集No. 36（電子ジャーナル論文）をホームページ上に公開した。

⑥一般研究論文等のホームページ公開

地域安全学会として学術的な知をより広く社会に還元することを目的として、これまでに発行してきた地域安全学会梗概集と東日本大震災特別論文集のHP上での公開を更新した。

⑦地域安全学会論文賞・論文奨励賞・年間優秀論文賞の選出

- i. 査読論文（電子ジャーナル）No. 34(2019.3)、および査読論文（研究発表会）No. 35(2019.11)に掲載された合計49編の論文を対象として、2019年地域安全学会論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、該当者なしとなった。
- ii. 査読論文（研究発表会）No. 35(2019.11)に掲載された合計35編の論文を対象として、2019年論文奨励賞の審査を行い、以下の2編の論文の筆頭著者を選出した。
  - (a)「三原市本郷都市計画区域における平成30年7月豪雨の浸水エリアの特徴 -浸水想定区域および宅地開発の変遷との関連に着目して-」  
田村将太（広島大学）
  - (b)「災害時の防護意思決定構造の理論モデル化とその実証的検討:大分県 3 市における土砂災害に関する社会調査データへの構造方程式モデリングの適用」  
藤本慎也(同志社大学)
- iii. 上記49編の査読論文を対象に年間優秀論文賞の審査を行い、以下の2編の論文の筆頭著者を選出した。
  - ・「割地制度の実態把握と被災地への応用可能性に関する一考察 新潟県長岡市信濃川沿岸での実態調査を通じて」（地域安全学会論文集No. 35）  
澤田雅浩(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
  - ・「震災体験の「語り」が生理・心理・記憶に及ぼす影響:語り部本人・弟子・映像・音声・テキストの違いに着目した実験的研究」（地域安全学会論文集No. 35）  
佐藤 翔輔(東北大学災害科学国際研究所)

⑧地域安全学会「技術賞」の選出

13回目を迎えた地域安全学会技術賞の募集に対し、2件の応募登録があり、審査委員6人による厳正な審査の結果、以下の1件を選出した。

【名称】防災に関わる新しい概念「フェーズフリー」の提案とその普及啓発

【受賞者】 秦康範（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター）

佐藤唯行（スペラディウス株式会社）

松崎元（千葉工業大学）

西原利仁（アスクル株式会社）

目黒公郎（東京大学）

⑨地域安全学会「優秀発表賞」の選出

第44回（2019年度）地域安全学会研究発表会（春季）において、56編の口頭発表が行われ、また、第45回（2019年度）地域安全学会研究発表会（秋季）においては、31編のポスター発表が行われた。審査の結果、以下の発表を行った4名を授賞対象者として選出した。

【春季】

- (a) 「災害対策本部会議の実態解明～大阪府北部地震初動対応の事例から」  
有吉恭子(人と防災未来センター)
- (b) 「災害対応にかかる思考型演習開発の経緯とその効果測定:バタバタ型からジックリ型へ」  
辻岡 綾(同志社大学大学院 社会学研究科)

【秋季】

- (a) 「病院の電源喪失対策立案とその評価手法に関する考察-院内発生事案とその原因との関係図を基に-」  
宇賀光太郎氏(摂南大学大学院理工学研究科)
- (b) 「基礎自治体の災害対策本部組織体制の運用に関する比較分析-異なる組織特性を有する2つの自治体の事例を対象として-」  
首藤広樹氏(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)

⑩ニュースレター発行とホームページ管理

2019年度はニュースレターNo. 107-No. 110の計4号を発行し、学会ホームページ上に掲載した。

⑪会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して、メールによる情報配信を行った。個人情報保護を考慮しつつ、効率的な会員サービスと会員管理を進めた。

⑫企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会において以下の3テーマについて研究活動を実施した。

- ①社会に役立つ防災情報システム研究小委員会（主査：牧紀男（京都大学））
- ②減災型土地利用マネジメント研究小委員会（主査：馬場美智子（兵庫県立大学））
- ③復興国際比較研究小委員会（主査：大西一嘉（神戸大学工学研究科））

⑬東日本大震災関連活動

- ①福島県南相馬市において「東日本大震災連続ワークショップ2019 in 南相馬」を開催した。
- ②東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「地域安全学会東日本大震災特別論文集No. 8」を刊行した。

⑭国際学術交流

- ・第4回世界防災会議（ICUDR）を2019年9月16日～18日で台北にて開催した。
- ・韓国災難情報学会と今後の連携について協議した。

⑮地域安全学 夏の学校2019

2019年8月5日に大学生・大学院生を主な対象としたセミナーを首都大学東京秋葉原サテライトキャンパスで開催した。また参加者によるポスター発表も行った。

【セミナー講師】

- ①「地図作成・GIS（MANDARA）の技法と活用方法」坪井塑太郎（人と防災未来センター）

- ②「社会調査・計量研究の基礎」立木茂雄（同志社大学）
- ③「被災地での現地調査の基礎（地震工学からのアプローチ）」森伸一郎（愛媛大学）

⑩リスクコミュニケーションのモデル形成事業

2020年2月28日に、2017年度～2019年度文部科学書リスクコミュニケーションのモデル形成事業事後評価審査会にて事業報告を行った。

⑪シンポジウム等の共催・参加

以下の催事に、地域安全学会として共催した。

- ・第6回「震災対策技術展」大阪（2019年6月6日～7日）
- ・安全工学シンポジウム2019（日本学術会議）（2019年7月3日～5日）
- ・第24回「震災対策技術展」横浜（2020年2月6日～7日）

⑫防災学術連携体が主催・連携するシンポジウムに、下記の会員が参加し報告を行った。

- ①第2回防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会-災害時医療と理工学分野の連携-(2019年6月13日)

池内淳子(摂南大学)「病院力診断システムと使用継続診断システム、災害研修プログラム」

- ②令和元年台風第19号に関する緊急報告会(2019年12月24日)

佐藤翔輔(東北大学)「台風19号災害における宮城県内の避難行動」

- ③日本学術会議主催学術フォーラム・第9回防災学術連携シンポジウム

「低頻度巨大災害を考える」(2020年3月18日)

西川智(名古屋大学)「巨大広域災害からの広域経済の減災・早期復旧戦略」

夏の学校／予算の確認／

⑬会員数および年会費納入（2020年3月末）

	会員数	2019年度 会費納入状況
賛助会員	2	2
正会員	545	507
学生会員	75	56

## 2) 2019年度決算

決算に関して、宮野監事、重川監事による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいた。

一般社団法人 地域安全学会  
2020年3月31日現在

### 【貸借対照表】

(単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	201,209	未払金	625,820
		預り金	7,656
普通預金	2,063,769	前受金	44,000
(うち、国際交流事業用資金)	407,976	仮受金	12,560
		未払法人税等	93,200
【口座別内訳】 ゆうちょ銀行	283,458		
振替預金	41,646		
春季研究発表	435,238		
秋季研究発表	228,723		
りそな査読論文	809,064		
りそなワークショップ	210,071		
りそなリスコム事業	55,569		
前払費用	0		
商品	2,750,883		
未収会費	327,000		
未収入金	9,260		
ソフトウェア	0		
		負債合計	783,236
		その他一般正味財産	4,568,885
		正味財産合計	4,568,885
資産合計	5,352,121	負債・正味財産合計	5,352,121

## 【損益計算書】

(単位：円)

科 目	金 額
<b>【Ⅰ 収入】</b>	
1 会費収入	4,175,000
2 寄付金収入	0
3 受取助成金	0
4 事業収入	
ア 梗概集登載料	1,010,000
イ 梗概集販売料	352,022
ウ 論文集登載料	1,260,000
エ 論文集査読料	630,000
オ 論文集販売料	232,305
カ DVD販売料	30,000
5 雑収入	
ア 懇親会費	411,000
イ 視察費	308,000
ウ その他	115,000
6 受取利息	33
<b>収入合計</b>	<b>8,523,360</b>
<b>【Ⅱ 支出】</b>	
1 人件費	417,725
2 通信・広報費	251,164
3 印刷・編集費	1,468,782
(印刷編集費棚卸対応分)	-237,919
4 会議費	133,378
5 旅費交通費	2,068,422
6 交際費	451,683
7 委託費	1,042,571
8 消耗品費	68,316
9 事務用品費	0
10 減価償却費	0
11 支払手数料	32,996
12 謝金	107,705
13 補助金	40,000
14 事務局費	2,028,000
15 租税公課	0
16 運営費	747,919
17 雑費等	601,393
<b>支出合計</b>	<b>9,222,135</b>
<b>税引前当期利益</b>	<b>-698,775</b>
<b>法人税等</b>	<b>93,200</b>
<b>当期利益</b>	<b>-791,975</b>
<b>前期繰越利益金額</b>	<b>5,360,860</b>
<b>次期繰越利益金額</b>	<b>4,568,885</b>

## 2019年度地域安全学会収支計算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

### 収入の部

(単位：円)

科 目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
1.会費収入	4,071,000	4,027,000	44,000	正会員:7,000円×514名 学生会員:2,000円×54名 賛助会員100,000円×2社 過年度の未収入分のうち当期入金分:121,000円 (予算 正:541名 学生:72名 賛助:2社)
2.寄付金収入	0	0	0	
3.受取助成金等	0	0	0	リスコミュニケーション事業 (2018年度で終了)
小 計	4,071,000	4,027,000	44,000	
4.春季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	550,000	470,000	80,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) 47名
イ 梗概集販売料	90,000	134,234	▲ 44,234	1冊:4,000円×33部 CD1枚1,000円×1枚+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	0	0	0	外部に委託のため
イ 視察費	240,000	232,000	8,000	見学会参加費:4,000円×58名
ウ その他	0	5,000	▲ 5,000	王滝村より祝金
小 計	880,000	841,234	38,766	
5.秋季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	550,000	310,000	240,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) 31名
イ 梗概集販売料	180,000	189,428	▲ 9,428	1冊:4,000円×47部+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	435,000	279,000	156,000	懇親会参加費:5,000円×43名、2,000円×32名
イ 視察費	0	0	0	
ウ その他	0	0	0	
小 計	1,165,000	778,428	386,572	
6.東日本大震災連続ワークショップ				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	240,000	230,000	10,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ)
イ 梗概集販売料	40,000	28,360	11,640	1冊:2,000円×14部+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	75,000	132,000	▲ 57,000	懇親会参加費:一般@6000円×20名 学生@3000円×4名
イ 視察費	80,000	76,000	4,000	見学会参加費:4,000円×19名
ウ その他	0	15,000	▲ 15,000	見学会食事代:1,000円×15名
小 計	435,000	481,360	▲ 46,360	
7.学術				
1)事業収益				
ウ 論文集登載料	1,500,000	1,260,000	240,000	登載料 (2万円+5,000円/2ページ)
エ 論文集査読料	700,000	630,000	70,000	査読料:1編10,000円×63名
オ 論文集販売料	200,000	223,045	▲ 23,045	1冊:4,000円×57部+送料
カ DVD販売料	20,000	30,000	▲ 10,000	1枚:3万円×1枚
2)雑収入				
ア その他	150,000	95,000	55,000	オンライン投稿査読システム利用料 5,000円×30編 日本災害情報学会 日本災害復興学会より
小 計	2,570,000	2,238,045	331,955	
8.受取利息	50	33	17	
9.その他	0			
収入合計	9,121,050	8,366,100	754,950	

支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
1.事務局・総務				
2) 通信費・広報費	100,000	90,186	9,814	切手、送料、電話代等
3) 印刷編集費	15,000	16,320	▲ 1,320	コピー代、封筒印刷代
5) 旅費交通費	300,000	248,286	51,714	監査の為の交通費、大会等事務局交通費、宿泊費
6) 交際費	5,000	0	5,000	
7) 委託費	324,000	379,800	▲ 55,800	会計事務所月25,000円＋税 31年4月-2年3月、メールアドレス運用代
8) 消耗品費	18,000	12,817	5,183	消耗品、10万円以下の備品
9) 事務用品費	5,000	0	5,000	事務用文具等
11) 支払手数料	50,000	3,480	46,520	銀行振込手数料、役員登記手数料
14) 事務局費	2,028,000	2,028,000	0	委託費：月194,000円×6 H31年4月～R1年9月 / 月144,000円×6 R1年10月～R2年3月
15) 租税公課	20,000	0	20,000	源泉所得税、利子税、登録免許税、収入印紙代等
16) 運営費	20,000	18,310	1,690	メダル作成費
17) 雑費等	0	0	0	
99) 予備費	76,000	76,000	0	法人税等
小 計	2,961,000	2,873,199	87,801	
2.広報				
7) 委託費	150,000	155,898	▲ 5,898	HP情報更新料・サーバ利用料
11) 支払手数料	1,000	648	352	銀行振込手数料
小 計	151,000	156,546	▲ 5,546	
3.総会・理事会				
1) 人件費				
ア アルバイト給料	0	0	0	
2) 通信費・広報費	80,000	110,934	▲ 30,934	総会の案内資料印刷・発送代
3) 印刷編集費	60,000	53,168	6,832	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷
4) 会議費	100,000	83,878	16,122	理事会 会場費
5) 旅費交通費	750,000	630,060	119,940	理事会 旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	6,520	▲ 1,520	銀行振込手数料
小 計	995,000	884,560	110,440	
4.学術				
1) 人件費 (アルバイト給料)				
ア アルバイト給料	200,000	371,000	▲ 171,000	論文データ等アップデート作業代
2) 通信費・広報費	30,000	38,593	▲ 8,593	論文送送料
3) 印刷編集費	750,000	834,900	▲ 84,900	論文集No.34, 35 220部印刷料、コピー代
4) 会議費	100,000	49,500	50,500	学術委員会昼食代、飲食代
5) 旅費交通費	600,000	519,648	80,352	学術委員会参加交通費
7) 委託費	506,873	506,873	0	研究発表会論文オンライン査読システム委託費 年間利用料：506,873円
11) 支払手数料	10,000	9,784	216	銀行振込手数料
16) 運営費	50,000	0	50,000	査読者昼食代
17) 雑費等	0	0	0	
小 計	2,246,873	2,330,298	▲ 83,425	
5.国際交流				
11) 支払手数料	10,000	0	10,000	
13) 補助等	0	0	0	
16) 運営費	100,000	0	100,000	
小 計	110,000	0	110,000	

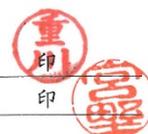
科目	①予算	②決算	比較①-②	備考
<b>6.春季研究発表会</b>				
1) 人件費(アルバイト給料)				
アルバイト給料	0	0	0	
2) 通信費・広報費	5,000	4,500	500	
3) 印刷編集費	190,000	203,796	▲13,796	梗概集No.44CD付 100部 CD20部
5) 旅費交通費	400,000	357,478	42,522	現地見学会バス、授賞者旅費
6) 交際費	0	60,640	▲60,640	シンポジウムお礼、懇親会費
8) 消耗品費	3,000	3,617	▲617	賞状用紙他
11) 支払手数料	3,000	2,376	624	銀行振込手数料
12) 謝金	100,000	107,705	▲7,705	パネリスト、パフォーマー謝礼
16) 運営費	180,000	175,050	4,950	現地見学会費用(昼食代含む)
17) 雑費等	0		0	
小計	881,000	915,162	▲34,162	
<b>7.秋季研究発表会</b>				
1) 人件費(アルバイト給料)				
アルバイト給料	40,000	46,725	▲6,725	
2) 通信費・広報費	5,000	3,949	1,051	梗概集送料、賞状送料
3) 印刷編集費	240,000	207,130	32,870	梗概集No.45CD付 140部
5) 旅費交通費	5,000	8,000	▲3,000	アルバイト交通費
6) 交際費	380,000	257,743	122,257	懇親会会場代、料理代
8) 消耗品費	3,000	3,482	▲482	賞状、賞状用筒、備品
9) 事務用品費	0	0	0	
11) 支払手数料	1,000	880	120	
12) 謝金	30,000	0	30,000	パフォーマー謝金
16) 運営費	400,000	461,628	▲61,628	昼食、飲み物代、パネル設置代
17) 雑費等	0	0	0	
小計	1,104,000	989,537	114,463	
<b>8.東日本大震災連続ワークショップ</b>				
2) 通信費・広報費	5,000	3,002	1,998	
3) 印刷編集費	120,000	153,468	▲33,468	特別論文集No.8(CD付) 80部
5) 旅費交通費	100,000	64,800	35,200	現地見学会等バス代
6) 交際費	75,000	133,300	▲58,300	懇親会
11) 支払手数料	1,000	872	128	銀行振込手数料
12) 謝金	30,000	0	30,000	講師謝礼
16) 運営費	10,000	45,000	▲35,000	見学会、昼食代等、パフォーマンス料
17) 雑費等	0	0	0	
小計	341,000	400,442	▲59,442	
<b>9.リスクコミュニケーション特別企画研究小委員会</b>				
5) 旅費交通費	0	37,510	▲37,510	額が未確定であった分(事後評価面接参加)
11) 支払手数料	0	6,916	▲6,916	振込手数料
16) 運営費	0	364,393	▲364,393	補助金返金分(事業2018年度終了)
小計	0	408,819	▲408,819	
<b>10.その他事業</b>				
5) 旅費交通費	200,000	202,640	▲2,640	研究小委員会61,120円 防災学術連携体99,720円 若手研究会 41,800円
8) 消耗品費	0	48,400	▲48,400	研究小委員会トナー代
11) 支払手数料	1,000	1,520	▲520	銀行振込手数料
13) 補助金	40,000	40,000	0	安全工学シンポジウム共催分担金、防災学術連携体会費
16) 運営費	100,000	47,931	52,069	安全・安心若手研究会の運営費:100,000円(旅費交通費は41,800円使用)
小計	341,000	340,491	509	
支出合計	9,130,873	9,299,054	▲168,181	

収入-支出	-932,954
-------	----------

なお、科目間の流用を認めます。

2020年5月 日  
上記の通り収支決算を報告いたします。

一般社団法人地域安全学会  
監事 重川 希志依  
監事 宮野 道雄



### 3) . 2020年度役員について

昨年度の臨時総会で承認いただいたように、理事、監事は2019～2020年度の2年の任期となるので、2019年度は役員改選を行わなかった。2020年度役員は以下の通りである。

#### 1) 理事

生田 英輔	大阪市立大学大学院生活科学研究科
池田 浩敬	常葉大学大学院環境防災研究科
市古 太郎	首都大学東京大学院都市環境科学研究科
糸井川 栄一	筑波大学システム情報系
稲垣 景子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院
梅本 通孝	筑波大学システム情報系
大西 一嘉	神戸大学大学院工学研究科
大原 美保	土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター
加藤 孝明	東京大学生産技術研究所
柄谷 友香	名城大学都市情報学部
越村 俊一	東北大学災害科学国際研究所
越山 健治	関西大学社会安全学部
小山 真紀	岐阜大学流域圏科学研究センター
指田 朝久	東京海上日動リスクコンサルティング
庄司 学	筑波大学システム情報系
立木 茂雄	同志社大学社会学部
田中 聡	常葉大学大学院環境防災研究科
西川 智	名古屋大学減災連携研究センター
能島 暢呂	岐阜大学工学部
秦 康範	山梨大学工学部
藤本 一雄	千葉科学大学危機管理学部
牧 紀男	京都大学防災研究所
松岡 昌志	東京工業大学環境・社会理工学院
村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所
目黒 公郎	東京大学 生産技術研究所
森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科
八木 宏晃	静岡県交通基盤部

#### 2) 監事

重川 希志依	常葉大学大学院環境防災研究科
宮野 道雄	大阪市立大学大学運営本部

以上、理事27名、監事2名

## 2020年度地域安全学会委員会等の構成（案）

（◎委員長、○副委員長、\_\_\_理事、理事は所属を省略）

### 【会長】

村尾修

### 【副会長】

田中聡：学術（研究・国際交流）担当

能島暢呂：総務（会員・広報）担当

### 【総会・春季研究発表会実行委員会】

◎梅本通孝、○市古太郎、越村俊一、小山真紀、小野祐輔（鳥取大学）、浅井秀子（鳥取大学）、中谷典正（セコム山陰）

### 【秋季研究発表会実行委員会】

◎池田浩敬、○八木宏晃

### 【学術委員会】

◎秦康範、○越山健治、糸井川栄一、稲垣景子、木村玲欧（兵庫県立大学）、越村俊一、小林秀行（明治大学）、佐伯琢磨（神戸学院大学）、佐藤翔輔（東北大学）、澤田雅浩（兵庫県立大学）、中林啓修（国士舘大学）、永松伸吾（関西大学）、丸山喜久（千葉大学）、三浦弘之（広島大学）、村上正浩（工学院大学）

### 【研究運営委員会】

◎大原美保、○梅本通孝

### 【広報委員会】

◎藤本一雄、○秦康範、庄司学、松岡昌志（HP担当）、能島暢呂、小山真紀

### 【表彰委員会】

◎池田浩敬、稲垣景子、柄谷友香

### 【選挙管理委員会】

◎指田朝久、○藤本一雄

### 【国際交流委員会】

◎西川智、森伸一郎、立木茂雄、牧紀男、稲垣景子、目黒公郎

### 【東日本大震災特別委員会】

◎村尾修、○生田英輔、稲垣景子、大西一嘉、佐藤翔輔（東北大学）、杉安和也（東北大学）、寅屋敷哲也（人と防災未来センター）、松川杏寧（人と防災未来センター）

### 【安全工学シンポジウム担当】

◎稲垣景子

### 【防災学協会連合組織担当】

◎田中聡、○西川智

#### 4) . 2020年度事業計画

##### ①理事会の開催

2020年度は理事会を下記のとおり開催する。

臨時理事会 2020年5月23日（土）オンライン

第1回 2020年6月20日（土）オンライン

第2回 2020年7月11日（土）オンライン

第3回 2020年8月29日（土）オンライン

第4回 2020年10月31日（土）静岡（静岡県地震防災センター）

第5回 2021年1月9日（土）オンライン

第6回 2021年3月20日（土）オンライン

ただし、地域の感染レベルが下がった場合には、同志社大学東京オフィスまたは東工大キャンパスイノベーションセンターでの開催を検討する。

##### ②総会の開催

総会を下記のとおり開催する。

日時：2020年6月20日（土）

場所：東京都千代田区六番町13-7 中島ビル2F（地域安全学会事務局）

##### ③春季オンライン研究報告会の開催

春季オンライン研究報告会を下記のとおり開催する。

日時：2020年5月23日（土）

##### ④東日本大震災オンライン研究報告会2020の開催

東日本大震災オンライン研究報告会を下記のとおり開催する。

日時：2020年7月3日（金）

##### ⑤秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催する

日時：2020年10月31日（土）～11月1日（日）

場所：静岡地震防災センター

##### ⑥地域安全学会論文集・梗概集の刊行

i. 春季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 46」、秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 47」を刊行し、優秀発表賞を選出する。

ii. 地域安全学会論文集の論文募集は年2回とし、今年度は地域安全学会論文集 No. 37、同 No. 38（電子ジャーナル論文）の論文を募集する。

iii. 秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No. 36、No. 37」を刊行し、地域安全学会論文奨励賞を選出する。

iv. 地域安全学会論文集 No. 38（電子ジャーナル論文）をホームページ上で公開する。

v. 地域安全学会論文集（No. 36、No. 37）を対象に地域安全学会論文賞および年間優秀論文賞を選出する。

##### ⑦広報活動の強化と会員管理

サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

##### ⑧地域安全学会技術賞の選出

表彰委員会において第14回地域安全学会技術賞の選考を行う。

⑨企画研究小委員会活動

企画研究小委員会において以下の3テーマについて研究活動を実施する。

- ①社会に役立つ防災情報システム研究小委員会（主査：牧紀男（京都大学））
- ②復興国際比較研究小委員会（主査：大西一嘉（神戸大学工学研究科））
- ③地域防災促進のための ICT の活用に関する研究小委員会（主査：小山真紀（岐阜大学））

⑩国際学術交流

- ・2021年開催予定の第5回世界防災会議（ICUDR）について準備を進める。
- ・韓国災難情報学会と今後の連携について協議する。

⑪役員選挙

定款の規定に則り、2020年度に新役員選挙を実施する。

⑫東日本大震災に関する支援・研究活動の推進

東日本大震災特別委員会による被災地支援・研究活動の実施、東日本大震災学協会連絡協議会への参画を行う。

⑬防災学協会連合組織への参加

「防災学術連携体」が主催、連携するシンポジウム等に参加し報告を行う。

⑭地域安全学 夏の学校2020ー基礎から学ぶ防災・減災ーの実施

大学生・大学院生を主な対象として、セミナーを開催する。

日時：2020年8月5日（月）

場所：名古屋大学

5). 2020年度予算

2020年度地域安全学会予算

(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	2020年予算	2019年決算	備 考
1.会費収入	4,165,000	4,027,000	正会員:7,000円×545名 学生会員:2,000円×75名 賛助会員100,000円×2社
2.寄付金収入	0	0	
3.受取助成金等	0	0	リスクコミュニケーション事業2018年度で終了
4.春季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	470,000	470,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)×47名
イ 梗概集販売料	10,000	134,234	CD-R:1,000円×10枚
2)雑収入			
ア 懇親会費	0	0	中止のため
イ 視察費	0	232,000	中止のため
ウ その他	0	5,000	
小 計	480,000	841,234	
5.秋季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	400,000	310,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)×40名
イ 梗概集販売料	180,000	189,428	1冊:4,000円×45部
2)雑収入			
ア 懇親会費	435,000	279,000	懇親会参加費:7,500円×50名、2,500円×24名
イ 視察費	0	0	
ウ その他	0	0	
小 計	1,015,000	778,428	
6.東日本大震災連続ワークショップ			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	200,000	230,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)×20名
イ 梗概集販売料	20,000	28,360	1冊:2,000円×10部
2)雑収入			
ア 懇親会費	0	132,000	中止のため
イ 視察費	0	76,000	中止のため
ウ その他	0	15,000	中止のため
小 計	220,000	481,360	
7.学術			
1)事業収益			
ウ 論文集登載料	1,250,000	1,260,000	登載料(2万円+5,000円/2ページ)×50名
エ 論文集査読料	700,000	630,000	査読料:1編10,000円×70名
オ 論文集販売料	200,000	223,045	1冊:4,000円×50部
カ DVD販売料	20,000	30,000	1枚:2万円(会員価格)×1枚
2)雑収入			
ア その他	125,000	95,000	オンライン投稿査読システム利用料 5,000円×25編 日本災害情報学会 日本災害復興学会より
小 計	2,295,000	2,238,045	
8.受取利息	50	33	
9.その他	0	0	
収入合計	8,175,050	8,366,100	

支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	備 考
1.事務局・総務			
2) 通信費・広報費	100,000	90,186	切手、送料、電話代等
3) 印刷編集費	15,000	16,320	コピー代、封筒印刷代
5) 旅費交通費	60,000	248,286	監査の為の交通費、大会等事務局交通費、宿泊費
6) 交際費	5,000	0	
7) 委託費	382,800	379,800	会計事務所月25,000円＋税 2年4月-3年3月、メールアドレス運用代
8) 消耗品費	18,000	12,817	消耗品、10万円以下の備品
9) 事務用品費	5,000	0	事務用文具等
11) 支払手数料	50,000	3,480	銀行振込手数料、役員登記手数料
12) 謝金	0	0	
14) 事務局費	1,728,000	2,028,000	委託費月144,000円×12 2年4月～2年3月
15) 租税公課	20,000	0	源泉所得税、利子税、登録免許税、収入印紙代等
16) 運営費	320,000	18,310	メダル作成費20個+氏名等刻印費
17) 雑費等	0	0	
99) 予備費	76,000	76,000	法人税等
小 計	2,779,800	2,873,199	
2.広報			
7) 委託費	30,000	155,898	サーバ利用料
11) 支払手数料	1,000	648	銀行振込手数料
小 計	31,000	156,546	
3.総会・理事会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	0	0	
2) 通信費・広報費	30,000	110,934	Dropbox利用料等
3) 印刷編集費	30,000	53,168	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷
4) 会議費	100,000	83,878	理事会 会場費
5) 旅費交通費	650,000	630,060	理事会 旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	6,520	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	
小 計	815,000	884,560	
4.学術			
1) 人件費(アルバイト給料)			
ア アルバイト給料	200,000	371,000	論文データ等アップデート作業代
2) 通信費・広報費	30,000	38,593	論文発送料
3) 印刷編集費	750,000	834,900	論文集No.36,37 印刷料、コピー代
4) 会議費	50,000	49,500	学術委員会昼食代、飲食代
5) 旅費交通費	400,000	519,648	学術委員会参加交通費
7) 委託費	535,180	506,873	研究発表会論文オンライン査読システム委託費 年間利用料：535,180
11) 支払手数料	10,000	9,784	銀行振込手数料
16) 運営費	50,000	0	査読者昼食代
17) 雑費等		0	
小 計	2,025,180	2,330,298	
5.国際交流			
11) 支払手数料	10,000	0	
13) 補助等	0	0	
16) 運営費	100,000	0	
小 計	110,000	0	

科目	①予算	②決算	備 考
6.春季研究発表会			
1) 人件費(アルバイト給料)			
アルバイト給料	0	0	
2) 通信費・広報費	10,000	4,500	郵送料、Dropbox利用料等
3) 印刷編集費	85,000	203,796	梗概集No.46 PDF+CD20部
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	0	357,478	中止のため
6) 交際費	0	60,640	
8) 消耗品費	3,000	3,617	賞状用紙他
11) 支払手数料	3,000	2,376	銀行振込手数料
12) 謝金	0	107,705	中止のため
16) 運営費	33,000	175,050	ポスター・チラシデザイン代
17) 雑費等	0	0	
小 計	134,000	915,162	
7.秋季研究発表会			
1) 人件費(アルバイト給料)			
ア アルバイト給料	40,000	46,725	
2) 通信費・広報費	5,000	3,949	梗概集送料、賞状送付料
3) 印刷編集費	240,000	207,130	梗概集No.47
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	5,000	8,000	アルバイト交通費
6) 交際費	380,000	257,743	懇親会会場代、料理代
8) 消耗品費	3,000	3,482	賞状、賞状用筒、備品
9) 事務用品費	0	0	
11) 支払手数料	1,000	880	
12) 謝金	30,000	0	パフォーマー謝金
16) 運営費	230,000	461,628	昼食、飲み物代、パネル設置代
17) 雑費等	0	0	
小 計	934,000	989,537	
8.東日本大震災連続ワークショップ			
2) 通信費・広報費	5,000	3,002	
3) 印刷編集費	120,000	153,468	特別論文集No.9(CD付)
5) 旅費交通費	0	64,800	中止のため
6) 交際費	0	127,500	中止のため
11) 支払手数料	1,000	872	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	中止のため
16) 運営費	0	50,800	中止のため
17) 雑費等	0	0	
小 計	126,000	400,442	
9.リスクコミュニケーション特別企画研究小委員会			
16) 運営費	0	408,819	リスクコミュニケーション事業2018年度で終了
小 計	0	408,819	
10.その他事業			
5) 旅費交通費	200,000	160,840	研究小委員会(2つ)、防災学術連携体の旅費交通費
8) 消耗品費	100,000	48,400	研究小委員会(2つ)
11) 支払手数料	1,000	1,520	銀行振込手数料
13) 補助等	40,000	40,000	安全工学シンポジウム共催分担金、防災学術連携体会費
16) 運営費	100,000	89,731	安全・安心若手研究会の運営費：100,000円(交通費も含む)
17) 雑費等	0	0	
小 計	441,000	340,491	
支出合計	7,395,980	9,299,054	

収入-支出	779,070
-------	---------

なお、科目間の流用を認めます。